

vol. 18

平成27年1月1日



あまから通信



迎春

よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。
本年も相変わらず、ようしくお願ひいたします。
皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

新年を迎えて

木太地区コミュニティ協議会 会長 綾野 和男



かがやかしい平成27年の新年をご家族お揃いで元気に迎えられた事を心からお喜び申し上げます。本年も地元木太地区はもとより皆様方にとりましても素晴らしい年になります様願っております。

さて、コミュニティ協議会の運営も木太地区におきましては連合自治会を中心にして各種団体の方々、教育関係の皆様を始め、コミュニティセンターの職員の方、そして地元住民の皆様の御理解と御協力を頂き円滑にとり行われている事に心からお礼申し上げる次第です。

本年予定いたしております各種行事につきまして

も、参加においてのご理解を賜るとともに、地域の活性化にご協力を申し上げます。多くの皆様と一緒に集い親睦と絆を深めることが大震災等の発生が生じたときは一番大切な共助につながるものと確信しています。

また木太地区として永年の念願でありました木太コミュニティセンターの新築につきましては平成26年度が基本設計、平成27年度が実施設計となり、平成28年度に建築が始まる予定となっております。

どうか木太地区住民の皆様には地区のキャッチフレーズ『広げよう 安全安心 地域の輪』をモットーに共に力を合わせて住みよい町づくりを進めようではありませんか。

最後になりましたが皆様の御健康と御多幸を祈りつつ新年のごあいさつとさせていただきます。

特集 木太町夢えがきワークショップ … 2~3

あまからTopics

第32回木太地区文化祭 … 4

- 北部小オータムデイキャンプ … 5
- 木太小チャリティーバザー
- 木太地区町民ハイキング

○木太町の達人 … 6

○木太町地名豆知識

○飛び出せ!スポーツ少年団 … 7

○町民のつぶやき

○マイお弁当のススメ … 8



木太町夢えがきワークショップ開催

平成26年9月13日（土曜日）に、第2次木太地区コミュニティプランの策定に向けて
『木太町夢えがきワークショップ』を開催しました。

将来の木太町は自分たちの手で、と集まった住民の皆様は総勢50名。
上は70代から下は30代のお母さんまでの幅広い年齢層にご参加いただきました。

第1回目のワークショップでは、
「木太町の良いところ、悪いところ」「将来木太町で○○したい！！」をテーマに
熱心に話し合いが進められました。



現在木太町に住んでいる人はこんなことを感じています

木太町の良いところ

- 町全体でイベントに取り組む風土がある
- 高松市中心部から程よく遠く程よく近い
- 地域が広く場所によって特徴がある
- 高齢者の参画が多い
- 色々なイベントで地区同士のコミュニケーションが活性化している
- 人のお世話が好きな人が多い
- 教育環境がよく充実している

木太町の悪いところ

- 人は多いが、特定の層にしか情報がいきわたらない
- 人口が多い割にイベント会場が狭く外の人を案内しにくい
- 生活道路が狭く行き止まりが多い
- ボールを使える公園が少ない
- 詰田川がきたない
- 水害・津波対策が不足していると感じる
- ふれあい事業は多いが、出てくる人は毎回同じ

将来木太町で○○したい！！

- マスコットキャラのきぐるみをつくりたい！
- 幹線道路から直接木太コミュニティセンターへの道をつけたい！
- 郷土の著名人を発掘したい！
- 誰でも利用できるコンサートホールをつくりたい！
- 町を花でいっぱいにしたい！
- 防災リーダー研修を定期的に開き、たくさん的人に受けもらいたい！
- 詰田川に公園を造りたい！



コミュニティセンターの建て替え決まる！

木太地区住民の念願でありました木太コミュニティセンターの改築計画がまとまりましたので、お知らせいたします。平成26年度は基本設計でどのようなコミュニティセンターにするのかという基本構想、部屋割等の基本条件を決める年度となっています。平成27年度に実施設計に入り、センター内部の細かい打合せに入っていきます。そして平成28年度からよいよ改築工事にかかり、平成29年に完成というスケジュールとなっています。

ご利用のみなさまには今後いろいろとご不便をおかけすることと思いますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。



コミュニティプランって？

高松市では市制施行120周年にあたる平成22年に「市民主体のまちづくり」を前面に出した『高松市自治基本条例』を制定し、その第23条では地域コミュニティ協議会がその中核を担うことが明記されました。

そして地域が主体となった地域コミュニティ活動の推進に向けた指針として、地域の将来像や課題、その解決に向けた具体的な活動などをまとめたものを「地域コミュニティプラン」といいます。

木太地区ではそれに先駆けて、「今後、こんなことがやりたいな」「こんなのがあったらな」というものを「将来の地区的イメージ」としてまとめたものを平成15年に第1次コミュニティプランとして策定し、地域コミュニティ活動の指針として活用しています。

十年前に皆様と一緒にになって考えた最初の木太地区コミュニティプランで実施した事業

①明日へのまちづくり

- ・幹線道路、それにつながる主要道路の整備
- ・情報発信
- ・災害に強いまちづくり
- ・木太町キャッチフレーズの設定



中央インター通り開通



木太町情報誌およびホームページ事業



“木太町防災マップ作成”事業

地域の輪
広げよう
安全安心

②環境にやさしいまちづくり

- ・公園の設置
- ・犬の飼い方等のマナーアップの啓発
- ・主要道路、河川の一斉清掃
- ・リサイクルの推進



公園整備事業



河川等一斉清掃



“きれいなまちづくり宣言マナーアップ作戦”

③安全・安心なまちづくり

- ・安全安心まちづくり組織の立ち上げ
- ・夜間パトロールの実施
- ・交通安全対策
- ・地域住民の健康づくりについての周知と検診の受診率向上



青バッタ事業



交通キャンペーン



健康チャレンジ事業

④連携の取れた楽しいまちづくり

- ・ふれあい事業の実施
- ・既存資料の活用
- ・地域ボランティアの組織化



“あまから水祭り”



史跡案内板および史跡MAPの作成



学校支援ボランティアの普及

木太から Topics

トピックス

第32回 2014年10月25日(土)・26日(日)実施 木太地区文化祭

10月25・26日に第32回木太地区木文化祭が、木太コミュニティセンターと木太小学校の体育館で開催されました。

開会式後のオープニングは恒例となった木太小学校の生徒による鼓笛隊演奏からはじめり、コミュニティセンターでは同好会のカラオケ・演芸発表会、体育館では各種団体の活動パネルをはじめ、同好会作品の展示、ステージでの手作り教室が二日に渡って行われました。

来場していただく住民の皆様に楽しんでいただけるように様々な試みを行っている文化祭ですが、同好会発表・作品展示とともに年々レベルが上がり、それに伴って来場者も増えてきていることはとてもよろこばしく感じております。これからも様々な事業を通して木太町に貢献できるよう頑張っていきたいと思います。(上枝 秀則)



大人気の手作り教室★



大迫力の作品!木太保育所



二日間で3千人以上の来場者でした



オータムデイキャンプ 2014年9月13日(土)実施



竹と毛布で担架づくり



ドキドキ…
カッコよすぎ



晴天のもと9月13日(土)、木太北部小学校でオータムデイキャンプが開催されました。

高松東消防署をはじめ消防団木太分団、自主防災会等、地域の方々のおかげで大変内容の濃い防災キャンプとして実現できました。

特に印象に残ったのは、子ども達の素敵な笑顔と大人たちの真剣な顔でした。話を聞く時の子どもたちの態度も素晴らしいでした。また、来年のキャンプも楽しみだという保護者の声も聞けて嬉しく思いました。

日帰りではありませんが得難い経験をし、楽しくすごせるキャンプにできた事をご協力頂いた皆様に感謝します。(山本 純磨)

木太小学校PTAチャリティーバザー 2014年11月8日(土)実施

11月8日(土)午前中の学習参観に引き続き、PTAチャリティーバザーが開催されました。

本部役員と専門部さんで飲食コーナー、日用品の特価販売やゲームコーナーに加えて、今年は「木太っ子応援団」の焼き芋もあって、バーコーナーは大賑わいでした。児童による募金活動も3年連続で行われました。また「読み聞かせウイング」のバーゲン講演、「木太ベアーズ」や「木太サッカー少年団」のコーナーも大変好評でした。

地域の皆さん、また校長先生をはじめ先生方、PTA会員の皆さんのご協力で、今年も子ども達の笑顔がまぶしいイベントになりました。(木村 潔)



大好評!!木太サッカーキック的当て

2014年11月8日(土)実施

バザーは
大盛況!



木太地区町民ハイキング 2014年11月23日(日)実施



最高のハイキング日和でしたね

町民ハイキングは、“自然に親しもう”をキーワードに地区住民の体力向上と健康づくりを目的として、体育協会が毎年実施している行事です。

今回で36回目のハイキングは、「しまなみ海道第4弾」として因島大橋へ地区住民119名の参加をいたしました。晴天無風のすばらしい天候に恵まれ楽しんでいただきました。

全長5.7kmのコースは、潮風がさわやかな海岸道路、因島大橋からの迫力ある眺望そして紅葉の美しい山道と、非常に見どころの多いコースでした。参加者からは「毎年この時期が楽しみ」という声をいただき、うれしく思いました。来年も皆様に楽しんでいただける計画にしたいと思います。(松崎 明雄)



しっかり歩いた後のお弁当は格別です

阿部歯科



高松国際ホテル東1km

マルナカ春日店西150m

木太町6区 TEL 834-5314

夢・いやし・やすらぎ

特別養護老人ホーム

法寿苑

高松市木太町3308 電話(087)832-5500

【広告を募集しています】

●木太地区1万世帯に配布いたします ●地元に密着した広告が可能です
●サイズ:横85mm×縦50mm ●広告料:1枚10,000円 ●お問い合わせは、木太地区コミュニティ協議会まで

木太町の達人

ご近所の
あの人(?)は
実はココが
スゴイんです

ジオラマづくりの達人

新開地区 遠藤 宏記さん



お店にきた子どもたちの視線をくぎ付け! 身近な素材を使ってアニメの1シーンをそのまま切り取ったかのような精巧な町並みつくったのが今回ご紹介するジオラマ作りの達人遠藤宏記さんです。

元々、模型が好きで小さい頃からプラモデルや鉄道模型、大人になってからはモデラー(模型制作)の仕事を手掛けている達人は、現在は店頭に鉄道レイアウトを展示することが毎年の恒例となっているようです。子どもたちが採寸中に退屈しないように考えた末、誰もが知っているジブリの作品をモチーフにジオラマを作成するようになりました。

そしてできあがった『油屋』(千と千尋の神隠しより)は精緻の一言! 厚さ0.5mmの紙を重ね合わせた今回の作品はさすがの達人もご苦労されたようで、建物部分だけでも一ヶ月半、町並みや風景も含めると今なお改良が施されているようです。(普段の作品は大体2日である程度は完成)

“(作品が)ひとつ完成したらその周辺の情景も気になっちゃって…、ジオラマづくりに果てがなくなってしまう(苦笑)”達人の少し照れながらの受け答えに、自分の好きなことをずっと続けていけるってすごく素敵なことだなと思いました。

完成したジオラマはいつでもショーウィンドウに飾られているそうなので近くに来たときにはお店に立ち寄ってみてはいかがでしょうか? 達人の面白い話や苦労話がきけるかもしませんよ。

遠藤呉服店 高松市木太町2569 TEL.087-861-5094

この建物! ほとんど紙でできています



厚さ
に0.5
ミリ!
(神業)
まさ
に紙業

リアルさを追求!妥協はいたしません!

新シリーズ

木太町地名豆知識

地名が語る声に耳を傾けると、そこには気候・風土のありさま、土地の人々の生活の姿が刻み込まれています。
(木太町郷土誌より)



『本村地区』のいわれ

村落発生の過程で、最も古く最初にできた集落を“本村”、そこから分かれたものを“枝村”と呼んでいました。木太郷の本村は、かつて八坂神社を中心にして政治経済の中心地であったといわれています。

木太町発祥の地・本村

昭和30年代頃までは約40軒の小さな集落だった本村は、今や500軒を超える大所帯となり自治会も4つに分割しました。しかし、祭りや河川清掃など大きい行事は一つにまとまって行っています。

平成7年に本村自治会集会所が完成し、地域の活動拠点ができたことで自治会活動も活発になり、毎年8月には“本村夏まつり”を開催し、住民相互のふれあいと交流も深まっています。



八坂神社の秋祭りには子どもちょうさを奉納しています。本村として誇れるることは「八坂神社大祭の歌」「伊勢音頭」「鯉の滝登り」の3曲を子どもから次の子どもへと語り継いでおり、自分たちでちょうさの太鼓に合わせて歌うことが伝統となっていることです。

これからも先輩たちが築いてきた歴史と伝統を引き継いでいきたいと思います。(櫻 昭二)

ご紹介していく地区は秋祭りの大当家を参考にしています。次回は“高須”地区をご紹介します。

「
本
村
」
地
区
の
巻

飛び出せ！

スポーツ少年団

木太北部子ども会 女子の部



みんなで勝ち取った勝利です！

フトベースボール大会優勝！

平成26年9月7日(日)、高松市西部運動グラウンドで第43回高松市子ども会フトベースボール大会が開催されました。

女子の部において木太北部子ども会が見事優勝し、前回大会に続きV2を達成しました。少人数ながら1年生から6年生の全員が一丸となってプレイし、つかんだ勝利でした。持ち味の堅守が予選から発揮され失点が少なかった



ことも見事でした。来年も優勝目指して頑張っていこうと思います。
(土井達哉)

町民のつぶやき

【つぶやき大募集】

あなたもこのコーナーで、普段の何気ない一言や出来事をつぶやいてみませんか？投稿は木太町ホームページへ、または各コミュニティセンターへお持ちください。お気軽な投稿待っています！

栗拾いできる秘密の場所が誰かに先回りされました。泣。(K.Uさん)

ウォーキングに最適の“大池”木太町住民になってよかったです～(M.Tさん)

うちのモモ(猫)ちゃん、「お母さんおでかけするよ」と声をかけると自転車の前カゴに乗る。本当に目に入れても痛くない娘です。(大西さん)

先日18年間共に過ごした犬のリキが旅立ちました。朝夕の散歩ご苦労様でした。(あまり散歩に行かなかった妻より)

みなさまからのご意見、ご感想をいただきました！

- 木太町も最近新築の家が増えました。防災についてもこれまで以上に対策をお願いしたい。(K.Mさん)
- 史跡さんぽ道に行くのにひとりではなかなかなので、コミセンで集合して何人がで行けるようにしてほしいです。(M.Tさん)
- 子どもが幼稚園に行きはじめて、お弁当のススメが気になります。毎回楽しみにしています。(R.Mさん)
- 木太コミで生命の貯蓄体操を始めて1年半が過ぎました。体を動かすことが楽しいです。(Y.Oさん)

この他多数ご意見ご感想をいただきました。これからも皆様のお声をお聞かせ下さい。

あまからプレゼント クイズ

問題 去年9月に開催した十年後の木太町のまちづくりを創る意見交換会の名称は？

「木太町○えがきワークショップ」

○の中の答えが分かった方は、下の欄にクイズの答え、住所、氏名、電話番号(連絡先)をご記入の上、各コミュニティセンターまでお持ち下さい。

■クイズの答え

「木太町○えがきワークショップ」

■住所

■電話番号(連絡先)

ふりがな

■氏名

※ご記入いただいた個人情報は、当選者の発表、お便りの紹介に利用する以外、その他の目的に利用することはございません。

前回のあまからクイズ
当選者発表

vol.17の答えは

高松北高等学校

(マーケティング)

でした。

クイズに応募いただいた方の中から抽選で
5名様に右記のプレゼントを差し上げます。

今回のプレゼント
マルナカ商品券
1,000円

見本

応募の締め切りは2015年2月末必着です。

ご意見・ご感想・つぶやきをご記入ください。

■石川さん ■久保さん ■中野さん ■坂東さん
■中野さん 以上5名の方が当選されました。
おめでとうございます！

マイお弁当のススメ

残さず食べる! 赤★黄★緑の3色お弁当

〈材料〉

- | | | |
|------|---------|--------|
| ●ごはん | ●おにぎりの具 | ●鳥もも肉 |
| ●卵 | ●ブロッコリー | ●ミニトマト |



〈作り方〉

- 鶏肉に醤油、鶏がらスープの素、酢、砂糖を入れ下味をつける
- 卵にくぐらせて片栗粉と上新粉を混ぜたものをつけ油で揚げる
(NHKのためしてガッテンのレシピです♡)
- 卵焼き…卵にだし醤油、砂糖を加えて焼く
- ブロッコリー…塩ゆでします
- 彩りにプチトマトを添えて
- 出来上がり!



作: ダイキママ



お弁当は毎回「どうしよう…」の繰り返しでしたが、今回は「とにかく3色にしよう」と決めてからは気楽になりました。赤・黄・緑の信号機のような弁当ですが、子どもは残さず食べて帰ります。最近では手伝ってくれることもあり、今回のお弁当でも息子が卵を巻いてくれました。そんな時に「料理って楽しいかも?」とかすかに感じます。

お知らせ掲示板

平成27年木太地区各種行事の日程決まる

木太地区冬の献血

- 木太コミュニティセンター
- 1月18日(日)

すっかり年始の恒例行事となった保健委員会の献血です。
冬場の血液不足に貢献した後は、うどんを食べて心も体も暖まりましょう。

河川等一斉清掃 ●木太町全域 ●2月22日(日)

木太地区のみんなで町内をはじめ生活用水路の清掃美化を地域ぐるみで推進し
「住みよい町づくり」をめざします。

スマートフォン対応! ホームページリニューアルのお知らせ!

木太町ホームページが、
スマホで見やすくなりました!

トップ画像に最新スライド式を導入!



木太町の身近な情報が満載!

メインビジュアルを
大きく表示しました!

Facebookや
Twitterとの
シェアも簡単!

アクセス数の多い
タブを見やすく
配置しました!

スマートフォンでアクセスすると
自動的にスマホレイアウトに切り替わります。

<http://kita-town.com/>

ますます身近になった木太町あまからHPをよろしくお願い致します!



新年あけましておめでとうございます。一年の計は元旦にありといいますが、年頭にあたって皆さんはどんな抱負を持たれていますか?木太町では十年後の町づくり計画や、コミュニティセンターの建替え等、未来に向かって日々前進しています。

今年もあまから通信は、思わず笑顔がこぼれるような広報誌を目指して木太町を走り回っています。“こんなのが載せてほしい”というのがありましたら是非お知らせください。(杉河 亀松)

お便り募集しています!

高松市木太地区コミュニティ協議会

〒760-0080 高松市木太町3480-2 TEL&FAX 087-834-5547

記事に採用された方には
高松市指定収集袋1セット
を差し上げます。

◆お知らせ◆

戸籍届出、各種証明書の発行、市税納付等の各種行政手続きは、木太出張所で取り扱っております。業務の内容など、詳しくは木太出張所まで直接お問い合わせください。

高松市役所木太出張所 TEL.087-834-5485



この冊子は、環境にやさしい
水なし印刷を使用しています。

木太地区人口 平成26年12月1日現在

世帯数 13,999戸

